



NEWS

第17回 留学生日本語
スピーチコンテストin愛媛2020

令和2年12月20日（日）、南海放送本町会館において開催された「留学生日本語スピーチコンテストin愛媛2020」において、本学の留学生が入賞しました。今年度は、県内の大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、その他専門学校等で学ぶ

8つの国と地域から留学生12人が参加し、本学及び附属高校からは6人が出場し、うち4人が入賞しました。今回は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、無観客での実施となりましたが、コンテストの様子は、南海放送ラジオと愛媛CATVで同時生放送されたほか、南海放送のホームページでライブ配信されました。

優秀賞 ムハンマド シャミ ビン ロスランさん（マレーシア）工学部



日本に来てから3年ぐらいですが、スピーチコンテストに参加するのは初めてでした。コンテストに参加するときに、正直、受賞するつもりはありませんでしたが、母国のマレーシアへ帰国する前に「日本語に関する疑問を伝えたい」と思いながら参加しました。日本語学習歴は5年半ぐらいですが、私にとって、日本語は考えさせられるものが多いのではないかと考えています。スピーチ内容にもありますが、例えば、「頭がいい」はなぜ「頭」でしょうか。なぜ「脳」ではないでしょうか。「無事に」の読み方も、なぜ「むじに」ではなく「ぶじに」と読みますか。「無理」だと「ぶり」と読まないのが、なぜ？そんなことを考えさせられることもあったので、日本人はどう思うのかと気になりました。

新型コロナウイルスに悩んでストレスが溜まっている方々に、少しでも気楽で面白い話をする落ち着いた雰囲気になると、「考えさせられる日本語」というタイトルを選びました。リスナーに心地よい雰囲気をつくり、不安を極力抑えることを目的に参加しましたが、他にも素晴らしいスピーチが繰り広げられる中、優秀賞をいただきました。当日は、先生方、スタッフ、お友達、そして放送をご覧いただいた皆様のご支援に感謝申し上げます。

この記事を読んでいる留学生がいれば、コンテストに参加して外国人の視点で自分の考えを伝える絶好の機会ですので、ぜひお試しください。

南海放送HPよりスピーチコンテストの様子がご覧いただけます！

日本語スピーチ
コンテストin愛媛

新型コロナウイルス禍における
留学生支援の取組

緊急留学生支援一時金制度

AINECSでは、アルバイト収入の減少や家計維持者の予期できない事由により家計状況が急変した場合等、学生生活の継続に支障をきたす留学生を救済することを目的とした「緊急留学生支援一時金制度」を新設いたしました。支援金額は上限10万円とし、事態の収束以後は新型コロナウイルス感染症の影響に限らず、家計の急変事由等により学生生活の継続に支障をきたす留学生を救済するものとしています。

マスクの寄付をいただきました

愛媛大学（理工学研究科）の卒業生である張明揚さんより、令和2年6月にマスク1000枚寄付を頂きました。張さんは松山にて、オスカー・シンドラー株式会社を立ち上げ、代表取締役として活躍されています。寄付いただいたマスクは留学生宿舎などで配布しています。

新入留学生への「サバイバルコース」渡日前・オンラインでの開講

入国制限により、入学手続済であるものの来日が遅れた留学生に対して、愛媛大学での学生生活がスムーズにスタートできるよう、愛媛での暮らし方、学び方を学習する「サバイバルコース」をオンラインで開講し、留学生たちは母国から受講しました。また、理系の大学院で研究を行う留学生向けの安全衛生教育コースも同じくオンラインで実施しました。2021年度以降は、遠隔地のキャンパスで学ぶ留学生や、地域で暮らす外国人に対する、日本語学習の言語機会の保障の目的で継続実施することを検討しています。

留学生のためのなんでも相談室・自習室「#215 Walk in hours」

コロナ禍で孤立しがちな留学生が孤独感を解消できるよう、教職員に気軽に相談したり、自由に学習できるスペースを設けました。留学生のための「#215 Walk in hours」として運用を始めています。

レジデンストラック（誓約書）により渡日する留学生への支援

入国制限によりレジデンストラックの枠組みで日本へ入国した留学生には、14日間の滞在費等の追加負担が生じました。それらの留学生に対して、愛媛大学基金等から1人あたり9万円の財政支援を行いました。

令和元年度事業報告

1. 留学生の住宅賃貸借契約時における保証事業
利用者数 19名
2. 学生損害賠償責任保険の義務加入に伴う補助事業
利用者数 139名
3. 自転車関連事業
1,800円 (修理1台)
4. 外国人留学生パーティーの開催
7月26日(金)
5. 本学学生又は地域住民との交流を目的とした
留学生主催事業補助 10件
6. 広報誌「ふれあい」年2回発行
6月 38号発行 2月 39号発行



アイネックス会員募集中

アイネックスでは、愛媛大学の外国人留学生の学習及び生活、地域住民との交流活動等をご支援いただける会員を募集しています。

【年会費】 個人会員 1口 3千円
特別会員 1口 5万円

【振込先】 ゆうちょ銀行
口座番号：01690-8-21016
加入者：愛媛大学学生国際交流協力事業会

※振込手数料不要の専用振込用紙がございますので事務局までお問い合わせください。

【事務局】
TEL: 089-927-8105
FAX: 089-927-8967
E-mail: kokuryu@stu.ehime-u.ac.jp



キャンパスライフ



アネリン ドロイラス ララノさん (フィリピン)
理工学研究科



愛媛大学での留学生活は充実していてとても楽しいです。研究や日本文化についてたくさんのお話を学ぶことができました。研究室での作業やデータ分析など、将来の仕事に活かせるような充実した研究活動を行うことができました。留学期間中には、日本文化体験などの留学生向けのイベントがたびたび開催されていました。そこで、他国の友達や日本の友達をつくることができました。私は茶道、着物、生け花などを体験しました。

日本の美しさを楽しみながら、バランスのとれた研究生活を送りたいと思っています。文部科学省の国費外国人留学生奨学金制度に支援いただき感謝しています。また、日頃よりお世話になっている指導教員の渡辺幸三先生にはいつも感謝の気持ちでいっぱいです。



ふるさと紹介 マレーシア



ナウムフィルダウス

ビンラザリさん (工学部)



マレーシアの民族衣装について、紹介します。
マレーシアは、マレー系、中国系、インド系の3つの主要な民族で構成される多民族国家です。また、マレー系以外の半島の先住民族を総称して「オラン・アスリ(原住民)」と呼んでいます。マレーシアには様々な文化があるため、芸術、建築、長い伝統を持つ多くの文化が民族間で共有され、大切にされてきました。

* マレー

マレー民族の伝統的な服装は、男性はバジュ・メラユ、女性はバジュ・クルンです。イスラム教はマレー民族の主な宗教です。イスラム教の祝日にはイド・アル・フィトルという大祭があります。これは、イスラム教徒の断食の月であるラマダンの終わりを示します。

* 中国

チャイナドレスとタンスーツは最もポピュラーな伝統衣装のひとつです。彼らはお祭りの際、特に旧正月の時にそれを着用します。

* インド

マレーシアのインド人は、男性はシェルフニやクルタ、女性はサリーを着ることが多いです。結婚式やお祭り、特にディーワリー(ヒンドゥー教のお祝い)では伝統的の衣装を着るのが一般的です。

* イバン

半島に住む非マレー系の先住民族は、様々なグループで構成されており、その中の一つがイバン族です。戦士のような衣装と色鮮やかな柄の布で織られた、プア・クンプ、または、バジュ・ブルン、を着ています。

是非みなさんもマレーシアを訪れて、民族衣装を体験してみてください！

